

呉港高等学校

教育後援会だより

平成27年 3月1日 教育後援会広報部 第80号



卒業生のみなさんへ

呉港高等学校 教育後援会 会長 盛谷 公彦

卒業生のみなさん、このたびは呉港高校ご卒業おめでとうございます。

みなさんは自分の進むべき方向を決められ、決意も新たにすがすがしい気持ちでおられることと思います。

呉港高校での三年間は、時間的にも精神的にも苦しいことが多かったかもしれません。しかしこうして社会において即戦力になる学力・知識・技術を身につけられたことは、みなさんにとって大きな強みです。また同じ志の多くの仲間ができたことも心強いでしょう。

みなさんはこれから、自分の道を歩んでいくことと思います。そこで少し長く人生を歩んだ先輩として、みなさんに贈りたい言葉があります。

それは「人生を愛するものよ、時間を浪費してはならない。人生は、時間でできているのだから」。

アメリカの政治家フランクリンの言葉です。この言葉を私はいつも心にとめています。

時間を浪費するなというのは、急げとか、やみくもに突き進めという意味ではありません。

人生に与えられた時間には限りがあります。この限られた時間を上手に使って、自分の人生を構築しなければならないという意味だと、私は思います。

そういう人生の中で、これから皆さんは自分で決断したり、自分から行動を起こさなければならないことが、たくさん出てきます。

私は皆さんが自分の選択の責任を持つような自律した大人へとなり、周囲の方々と良い関係を作りつつ社会で活躍するような人たちになって欲しいと願っています。

今に至るまで、みなさんはたくさんの人たちと関係を築いてきたはずです。みなさんの成長を促し見守り続けてこられた保護者の方や、導いて下さった先生方、友情を築いてきた同級生や先輩後輩もそうですし、地域の方もそうでしょう。そういった方々に、健全な姿勢で頼ることも大人として求められてくるスキルです。もちろん周りの方が困っていたら、自分の能力を最大限生かして、手を差し伸べて下さい。

また、これからますます社会がグローバル化・高齢化していくにあたって、熟練したプロの必要性はどんどん高まっていきます。この呉港高校で学んだということを誇りに思い、三年間で身につけたノウハウを武器にし、志を忘れず、勇往邁進して行って下さい。そして、多くの方々に感謝されるような存在になって下さい。

保護者のみなさま、大切なお子様のご卒業、誠におめでとうございます。

子供たちは呉港高校から巣立ちますが、卒業したあとも子供たち同士はなんら変わることなくつながっていきます。

私は、同じ学び舎で過ごした子供たちの、親同士だからこそ感じ得る心の距離、温かみをずっと残しておきたい、ずっと大切にしたい、そう強く願っております。

これからも子供たちの節目節目をともにお祝いすることができるなら、子供を見る一人の大人として、呉市に住む地域の人として、この上ない喜びです。

今後とも教育後援会活動に対し、ご理解とご協力を賜りましたら幸いです。

卒業生のみなさんに、心からの祝福を贈り、そして、輝く光が未来を照らし続けることを確信し、ご挨拶とさせていただきます。

みなさんの健闘を心からお祈りいたします。

卒業おめでとうございます

3学年主任 渡山 雅秀



卒業生の皆さん、ならびに保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

皆さんは、本校にとって男子校として最後の学年でしたので、今年の卒業式は私たち教職員一同にとりましても、ひととき感慨深いものとなりました。

3年前、初々しい皆さんを迎えた入学式。その直後に行った男子のみのオリエンテーション合宿。厳しい訓練の中で、皆さんは見事に中学生から高校生へと脱皮していきました。

その後、資格・検定への挑戦やいろいろな行事、クラブ活動などを通して、皆さんは成長していきました。私たちには多くの至らない点がありましたが、皆さんの成長を見ることで教員としての生きがいを与えてもらった3年間でした。特に、2年生の野呂山全校登山では誰一人途中で弱音を吐くことなく、全員が時間内に登頂し、山頂で校歌を歌うことが出来たことを覚えています。皆さんが、頑張れば出来るということを自ら証明したときでした。

今後も、いろいろな困難が待ち受けているでしょう。しかし、決して泣き言を言わず、何事にも挑戦し最後までやり抜く呉港魂を忘れないで下さい。

保護者の皆様には3年にわたり本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

最後になりましたが、卒業生ならびに保護者の皆様の今後のご健勝とご活躍をお祈りいたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

3年1組

担任

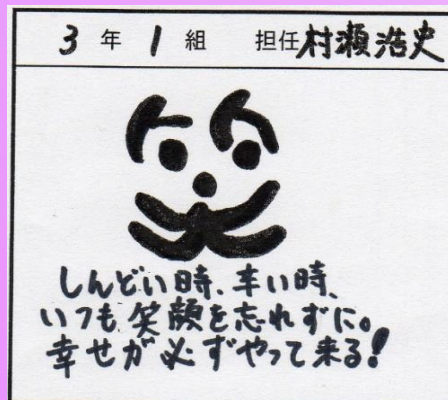
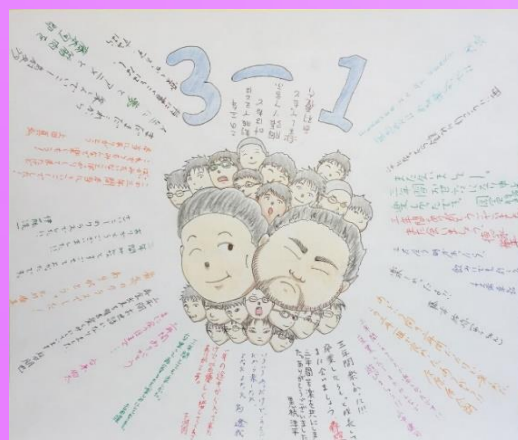
村瀬先生

副担任

松井先生



担任からひとこと



3年2組

担任

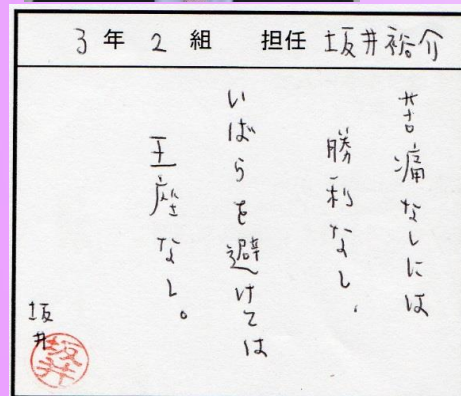
坂井先生

副担任

尾原先生



担任からひとこと



3年3組

担任

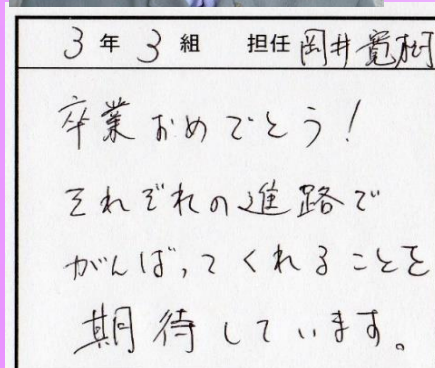
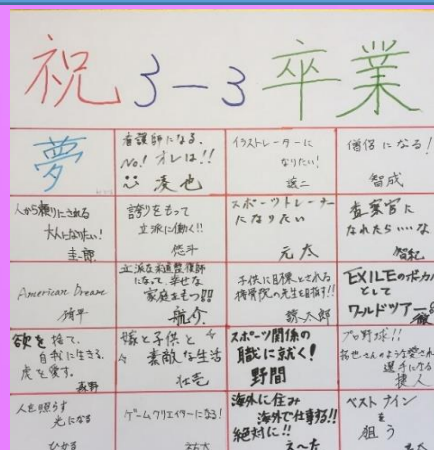
岡井先生

副担任

佐々木先生



担任からひとこと



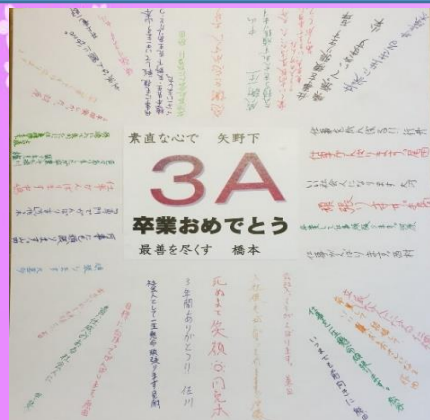
3年A組

担任

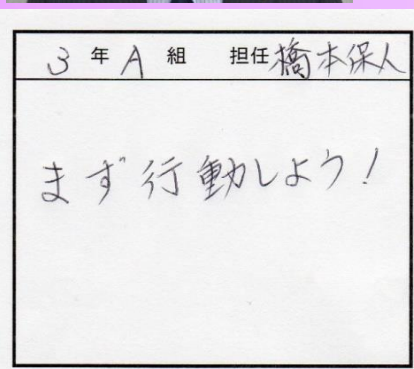
橋本先生

副担任

矢野下先生



担任からひとこと



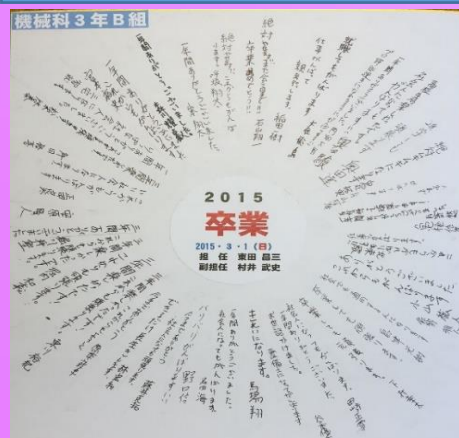
3年B組

担任

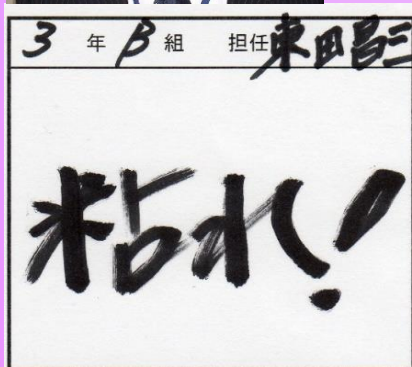
東田先生

副担任

村井先生



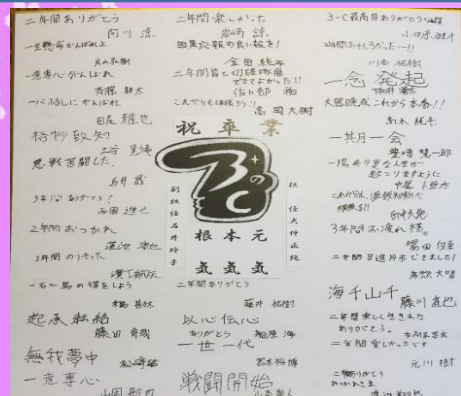
担任からひとこと



3年C組 担任 大仲先生 副担任 石井(玲)先生



担任からひとこと

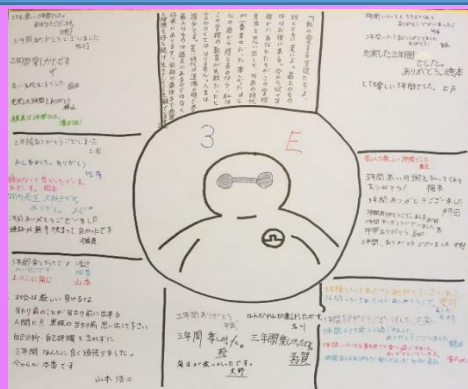


3年C組 担任大仲正純
何事に対しても前向きに
努力すれば、必ず前途は開
けるはずです。多くの人達と
の出会いも大切に、沢山の
喜びと時には苦しみを得
ながら、独り立ちの人生を
歩んでください。

3年E組 担任 山本先生 副担任 寺田先生



担任からひとこと



3年E組 担任 山本浩二
銀漢の賦
理想と矜持をもって
生きて下さい。
暮雲收盡清寒
銀漢無聲轉玉盤
此生此夜不長好
明月明年何處看

ご報告

毎年、呉港高校教育後援会では、学校に備品を贈呈しています。
子ども達が、より良い学校生活を送れるようにという思いからです。

体育館行事の際、冬場は寒いという生徒からの要望もあり、
今年度は『赤外線灯油ヒーター』4台を贈呈しました。
デビューは1/31の新年度入学生徒ガイダンス。
翌日の呉港祭でも、体育館の四隅に鎮座していたのを
ご覧になった保護者の方々も多数いらっしゃると思います。
これで、3/1の卒業式も快適に過ごせると思われます。
ひとまず、ご報告いたします。

保護者の皆様には、今年も1年間、教育後援会へのご理解・ご協力を
いただきありがとうございました。

来年度も役員一同、子ども達のために惜しまず、支援を続けてまいります。
引き続き、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



呉港高校教育後援会 常任委員一同